



本市がセーフコミュニティに取り組むにあたり、さいたま市の事故、ケガの現状を分析する「さいたま市セーフコミュニティ第1回データ分析検討会議」が開催されました。



平成28年1月27日(水)に「第1回データ分析検討会議」が開催されました。

事前に事務局で収集した、市内の事故、ケガに関するデータ等を基に、有識者2名と庁内データ所管課職員6名により、検討を行いました。

<主なデータ>

- ・人口統計・国勢調査・人口動態統計
・救急搬送データ・警察統計・警察、市所管で所有しているデータ(交通事故、DV、虐待など)

<データ分析検討会議>

セーフコミュニティの取り組みでは、データ(根拠)に基づいた活動が非常に重要です。また、活動内容を評価し、工夫を重ねより効果的な活動を継続的にを行います。

データ分析検討会議では、データ収集、分析、評価を行って行きます。その情報は実際に活動を行う、対策委員会へ提供します。

第1回目は、右記図の①現状分析。さいたま市のセーフコミュニティが取り組む対策が検討されました。対策が決定したら、より詳細なデータを収集、分析を行います。

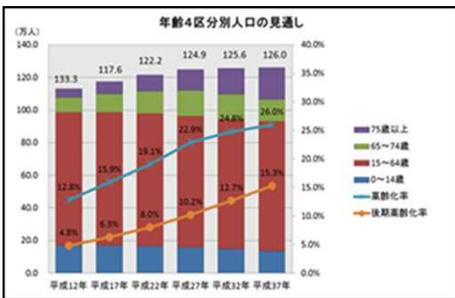
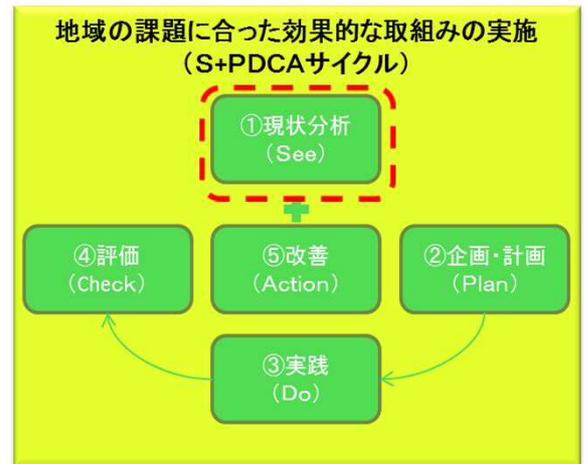
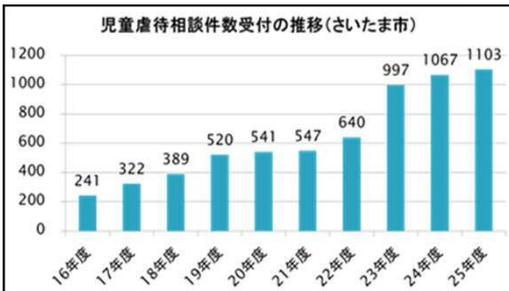


Table with 5 columns: Rank, Category, Number of Cases, Average, Death Rate, Ratio. Lists various accident types like poisoning, traffic accidents, etc.

<対策(案)>

- ①高齢者の安全対策
②子どもの安全対策
③自転車の安全対策
④DV対策
⑤自殺対策



セーフコミュニティ推進協議会で正式に決定されます。

